京大有志の会声明書

子ども向け訳が好評

京都大学の教員らでつくる「自由と平和のための京大有志の会」が発表した安全保障関連法案（戦争法案）に反対する声明書がSNSなどで拡散する中、子ども向けの訳「わたしの『やめて』」にも「ぼくの気持ちにぴったり」「このまま絵本になりそう」と反響が広がっています。

訳したのは、埼玉県在住の予備校講師、山岡信幸さん(51)です。インターネットで声明を読み、感銘を受けたという山岡さん。「『安保』法制だけでなく、原発問題、特定秘密保護法、アジア外交、教育の保守化など、日本政治の危険な潮流全体を射程に入れた声明だと思います」と語ります。

全文ひらがなで、やさしい言葉に置き換えられた子ども語訳。自身の3人の子ども（8歳、5歳、3歳）を思い浮かべながら訳しました。賛同の声やツイッターなどでは「子ども（園児）も『こども版』を一生懸命読んでいました」「家庭や教室で、たくさん読まれてほしい」などの声が上がっています。

山岡さんは「思わぬ評価ですが、ひとえに原文の格調の高さによるものだと思います。声明書が広く伝わることに少しでもお手伝いできたのなら幸いです」と話しています。

戦争法案反対 大学人立つ

憲法の理念、伝える

大阪市大教職員有志が声明

大阪市立大学（大阪市）の関係者らでつくる「安全保障関連法案に反対する大阪市立大学教職員有志の会」は、衆院本会議での強行採決を受け、「私たちは安全保障関連法案に断固反対し、即時撤回を求めます」との声明を発表しました。

20人の教職員が発起人となって、声明への賛同者を大学内外から募っています。

声明では、「安倍晋三政権は、過去に目を閉ざしつつ、今まさに戦争を可能とする法制度の確立に突き進もうとしている」と指摘し、「集団的自衛権の行使容認を核に据えた安全保障関連法案は、70年近くにわたり日本の平和を守ってきた憲法を空洞化させるものです」と批判。「私たちは、二度と戦争を起こさないと先達が誓った日本国憲法とその理念を、後世に伝えていく責任を負っています」とのべ、「私たちは、日本国憲法の理念に反する安全保障関連法案を断固拒否します」としています。

被爆地の大学として

広島大学人有志声明で会見

広島大学（東広島市）の名誉教授や教員が戦争法案の廃案を求めた「安保法案に反対する広島大学人有志の声明」についての記者会見が28日、同大内でありました。

声明は23日に発表したもので、被爆都市の大学として再び戦争の惨禍を到来させないよう努力してきたと述べ、「日本国憲法に違反する本法案に強く抗議し、断固として反対する」と表明。声明の呼びかけ人16氏のうち、河西英通、市川浩の両教授や川口隆行准教授ら7氏が会見しました。

川口氏は、ホームページ上で募った賛同者が143人を超えたと発表。河西氏は「わずか1週間で100を超える賛同が寄せられ、原爆を投下された広島の大学のインパクトの大きさを感じる」、市川氏は「広島大の基本理念には『平和を希求する精神』とある。声明は将来に向けての勇気と矜持（きょうじ）になる」と語りました。

河西氏らは会見後、同大キャンパスで、声明を読み上げるハンドマイク宣伝をしました。

7/29
赤旗

わたしの『やめて』

くにと　くにの　けんかを　せんそうと　いいます

せんそうは　「ぼくが　ころされないように　さきに　ころすんだ」
という　だれかの　いいわけで　はじまります
せんそうは　ひとごろしの　どうぐを　うる　おみせを　もうけさせます
せんそうは　はじまると　だれにも　とめられません

せんそうは　はじめるのは　かんたんだけど　おわるのは　むずかしい
せんそうは　へいたいさんも　おとしよりも　こどもも　くるしめます
せんそうは　てや　あしを　ちぎり　こころも　ひきさきます

わたしの　こころは　わたしのもの
だれかに　あやつられたくない
わたしの　いのちは　わたしのもの
だれかの　どうぐに　なりたくない

うみが　ひろいのは　ひとをころす　きちを　つくるためじゃない
そらが　たかいのは　ひとをころす　ひこうきが　とぶためじゃない

げんこつで　ひとを　きずつけて　えらそうに　いばっているよりも
こころを　はたらかせて　きずつけられた　ひとを　はげましたい

がっこうで　まなぶのは　ひとごろしの　どうぐを　つくるためじゃない
がっこうで　まなぶのは　おかねもうけの　ためじゃない
がっこうで　まなぶのは　だれかの　いいなりに　なるためじゃない

じぶんや　みんなの　いのちを　だいじにして
いつも　すきなことを　かんがえたり　おはなししたり　したい
でも　せんそうは　それを　じゃまするんだ

だから
せんそうを　はじめようとする　ひとたちに
わたしは　おおきなこえで　「やめて」　というんだ

じゆうと　へいわの　ための　きょうだい　ゆうしの　かい